

# 学校ウォッチ！ 新宮中学校

## 「生徒一人一人が輝く学校をめざして」

新宮中学校は全校生徒1,067人で、県内屈指の大規模校です。来年4月に分離を控え、1町1中では今年が最後となりました。これまで、生徒それぞれが輝きを放ち、新宮中学校の歴史が刻まれてきました。築いてきたものを新設中学校にも継承し、コミュニティ・スクール(CS)として地域とともにある学校を目指していきます。

### 「学びが輝く」 学びの共同活動で相互にわかる授業

全学年、すべての教科の授業で「学びの共同活動」を行っています。これは机をコの字型に並べ、ペア、小集団、学級全体の交流活動を計画的に行い、自分の考えをつくる学習です。

考えに行きづまったときは「ねえ、ここどうするの?」と隣の生徒に尋ねたり、「わかった!」という実感を大事にします。生徒が相互に自信をもつことで、内容がわかる・できる、自分の考えをつくる、そして、クラスの仲間の疑問や考えを大事にする力がつき、生徒の学びが輝くことをめざしています。

### 「笑顔が輝く」 異学年ブロック活動で生徒が輝く学校

体育会、砂の芸術、合唱コンクールの三大行事はブロックリーダーを中心に計画、運営しています。全校生徒が、1・2・3年合同の4ブロックに所属し、異学年構成のよさを生かした関わりあいを大切にします。先輩は後輩にしっかりと伝わるように見せ方や話し方を工夫するようになり、後輩は先輩の思いや願いを聴き、その姿を手本として活動するようになります。体育会をはじめとする各行事で全員が「相手のことを思い、相手のことを大事にする」という気持ちをつくる取り組みが進められます。このような体験を重ね、生徒がお互いを大事にし、笑顔輝く姿をめざします。

### 「新たな出会いが輝く」 地域や保護者とのつながりを深める

今年も学校運営協議会で「熟議」を実施しています。学校運営協議会委員のみなさん、区友長、代表生徒がテーマに沿って本音で語り合います。「挨拶運動を広げよう」「夏祭りを盛り上げるためには」「寺子屋に協力しよう」「中学生として防災に関われること」などを話し合っています。

砂の芸術では全クラスとブロックの砂像を作りますが、2年前から保護者チームや地域チームが参加し、迫力のある砂像を作っています。生徒も職員も作品に刺激をうけ、さらに盛り上がりをみせています。

これからも地域や保護者と繋がり、新たな出会いが輝く学校をめざしていきます。



▲朝のあいさつ運動



▲新宮音頭